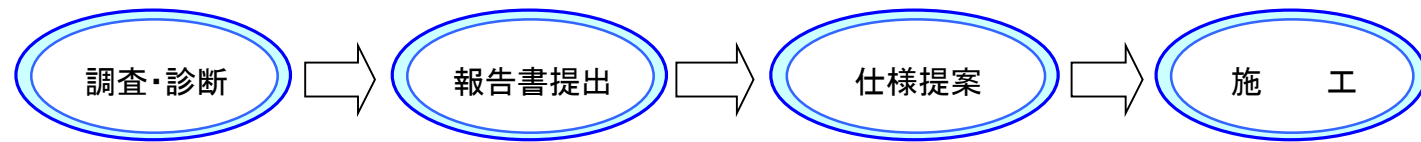
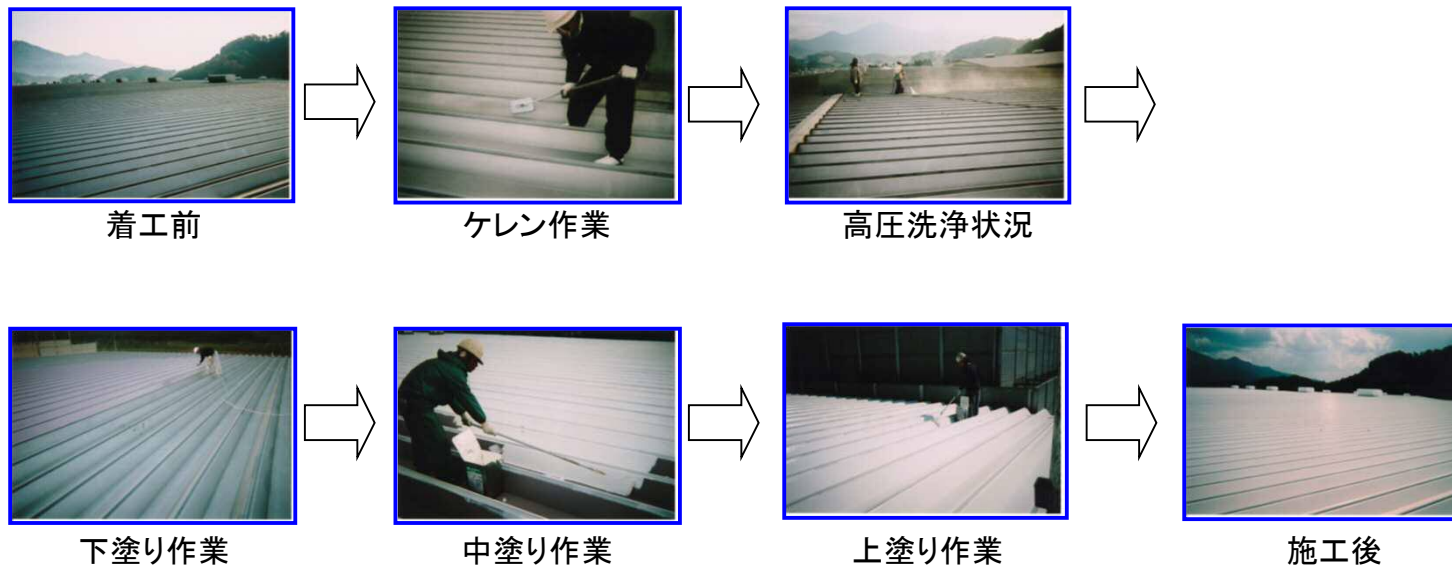


提案プロセス



施工フロー図



お問い合わせはこちらまで



ムライケミカルパック株式会社
MURAI CHEMICAL PACK CO.,LTD.
U R L : <http://www.murai.co.jp>
E-MAIL : info@murai.co.jp

本社・工場 福岡県久留米市藤山町696-5
TEL:0942-21-7667 FAX:0942-22-4570

福岡営業所 福岡市博多区博多駅東2丁目14-1 スフィクス・センター4F
TEL:092-474-1618 FAX:092-413-2015

東京営業所 東京都文京区小石川1丁目16-1 玉屋ビル3F
TEL:03-3816-7667 FAX:03-3816-7669

代理店

環境・機能性・美観 を考えた 環境調和型塗料
金属用防錆塗料 【遮熱対応】

ケミカルパックMPT-NT

ケミカルパックMPT-NT(遮熱)



ムライケミカルパック株式会社
MURAI CHEMICAL PACK CO.,LTD.

高耐久性、環境にやさしい塗料です。 【金属用防錆塗料】ケミカルパックMPT-NT

一液性弱溶剤型変成アクリル樹脂アルミ塗料

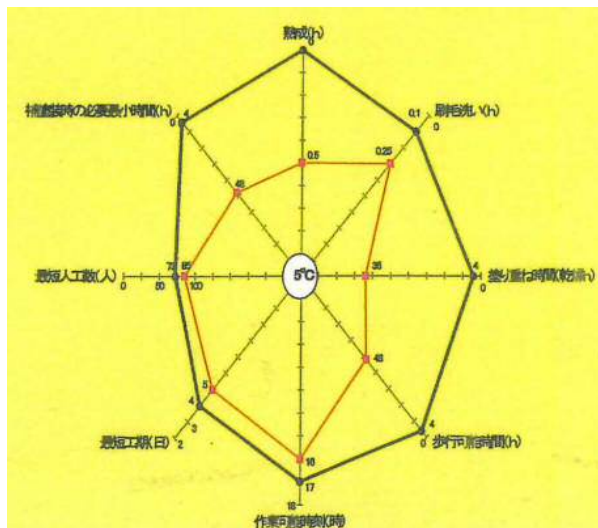
主な特徴

1. 新しい亜鉛メッキ面、経年劣化した亜鉛メッキ面、さらに旧塗膜面にも塗装可能、付着力・耐久性に優れています。
2. 各種旧塗料が活膜なら、アルキド系、塩化系、エポキシ系、ウレタン系など各種旧塗膜面に塗装できます。
3. 鉄材に強力に接着し、錆の進行を防ぎ、寿命を大幅に延ばすことができます。
4. 金属製屋根・外壁の劣化を防止する耐久性に優れた塗料です。
5. 一液性なので、作業性が向上します。塗料のロスも出ないので、コストダウンが可能です。

1液性塗料と2液性塗料の性能比較

	1液性塗料 ケミカルパックMPT-NT	2液性塗料 エポキシ樹脂塗料
作業性	取扱いが容易 可使時間の制限がない	使用前に主材・硬化剤を混合 可使時間に制限がある
乾燥硬化性	特に低温時の乾燥硬化性に優れる 0°Cで6時間 30°Cで2時間 0°Cまで施工が可能	低温時の乾燥硬化が遅い 5°Cで36時間 30°Cで12時間 5°C以下では施工ができない
耐久性	9年間の追跡調査で全く異常なし	9年間の追跡調査で上塗塗膜が消失して、再塗装が必要

鉄塔（3000㎡）での低温時における 1液性塗料と2液性塗料の作業性比較



● 1液性塗料
■ 2液性塗料

【重防食仕様】 塗装工程

Aタイプ 一般環境

工程	塗料	回数	膜厚 (μm)	塗装方法	使用量 (kg/㎡)	塗重ね間隔
1	素地調整 下地調整の項による					
2	ケミカルパックMPTシルバーグレーNT (ブラウン)	1	60	刷毛ローラー	0.20	2時間以上
3	ケミカルパックMPT-NT MIO	1	60	刷毛ローラー	0.28	

Bタイプ 海岸環境・特殊環境 (強塩害地域)

工程	塗料	回数	膜厚 (μm)	塗装方法	使用量 (kg/㎡)	塗重ね間隔
1	素地調整 下地調整の項による					
2	ケミカルパックMPTシルバーグレーNT (ブラウン)	1	60	刷毛ローラー	0.20	2時間以上
3	ケミカルパックMPT-NT MIO	1	60	刷毛ローラー	0.28	2時間以上
4	ケミカルパックMPT-NT	1-2	30-60	刷毛ローラー	0.15-0.30	

Cタイプ 一般有彩色仕上げ

工程	塗料	回数	膜厚 (μm)	塗装方法	使用量 (kg/㎡)	塗重ね間隔
1	素地調整 下地調整の項による					
2	ケミカルパックMPTシルバーグレーNT (ブラウン)	1	40	刷毛ローラー	0.15	2時間以上
3	ケミカルパックMPT-NT MIO	1	30	刷毛ローラー	0.15	2時間以上
4	ケミカルパックMPT-NT	1	30	刷毛ローラー	0.15	

高耐久性、さらに環境にやさしい塗料です。 【金属用遮熱塗料】ケミカルパックMPT-NT (遮熱)

一液性弱溶剤型変成アクリル樹脂塗料

主な特徴

1. 遮熱・断熱効果があります。(夏季の侵入熱エネルギーの抑制による省エネ効果)
2. 鉄材に強力に接着し、錆の進行を防ぎ、寿命を大幅に延ばすことができます。
3. 金属製屋根・外壁の劣化を防止する耐久性に優れた塗料です。
4. 工場等を操業しながら、老化した金属屋根の防錆・保護の施工ができます。

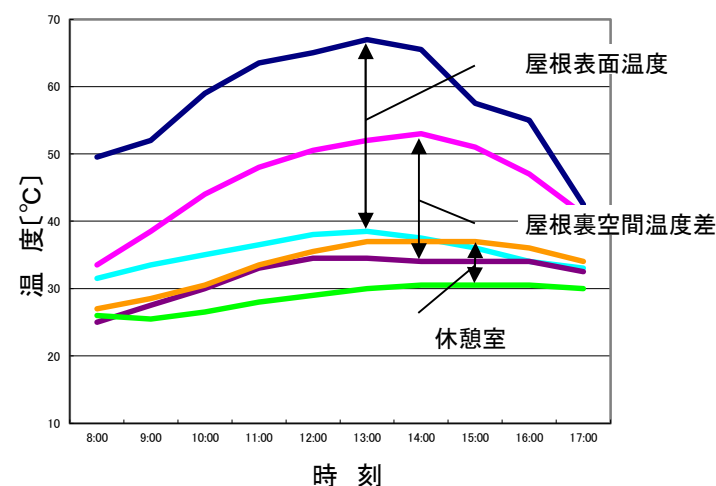
約4°C 室内温度が下がります。

(H1.5mの室内において)

※効果は立地・構造条件により異なります

ケミカルパックMPT-NT (遮熱)による
金属屋根の断熱効果について
工事測定データ (施工前・施工後の平均温度差)

	施工前	施工後	温度差
屋根表面温度(°C)	57.7	35.4	-22.3
屋根裏空間温度(°C)	45.9	31.9	-14.0
室内温度(°C)	33.6	28.7	-4.9



■ 施工前の屋根表面温度 ■ 施工後の屋根表面温度
■ 施工前の屋根裏空間温度 ■ 施工後の屋根裏空間温度
■ 施工前の休憩室内温度 ■ 施工後の休憩室内温度

【ケミカルパックMPT-NT (遮熱)】 塗装工程

工程	塗料	回数	膜厚 (μm)	塗装方法	使用量 (kg/㎡)	塗重ね間隔
1	素地調整 下地調整の項による					
2	ケミカルパックMPT-NT (遮熱) 錆止め	1	50	刷毛ローラー	0.15	2時間以上
3	ケミカルパックMPT-NT (遮熱) 中塗り	1	30	刷毛ローラー	0.15	2時間以上
4	ケミカルパックMPT-NT (遮熱) 上塗り	1-2	30-60	刷毛ローラー	0.15-0.30	

《下地処理として》

〔折板屋根の場合〕

- ・折板ジョイント部の処理、ジョイント重ね部は刷毛で塗込
- ・ボルト部の処理
- ・防錆処理(ケミカルパック遮熱 錆止め 塗装)

〔瓦葺屋根の場合〕

- ハゼ部の処理
 - ◎漏水がある場合
 - ・工法-1: 板金補修処理
 - ・工法-2: シーリング処理(変成シリコン)
 - ◎漏水がない場合
 - ・ハゼ部は刷毛で塗り込み。

下地調整

1. 発錆部は、2種ケレン程度で部分的にサンダー掛けをする。その後のケミカルパックMPT-NT (遮熱) 錆止めタッチアップ塗装。
2. 高圧洗浄: チョーキングが著しい場合は高圧洗浄する。

標準素地調整

- ・活膜は残し、その他の異物をほとんど除去し、鉄面は一樣に赤みを帯びた程度にする。

使用工具

- ・ディスクサンダー、ワイヤーブラシ等の動力工具と手工具を併用する。
- ※ 必要に応じ、高圧水洗処理を併用する。

留意点

- ・素地調整終了後は、できる限り速やかに下塗り塗装に入ること。